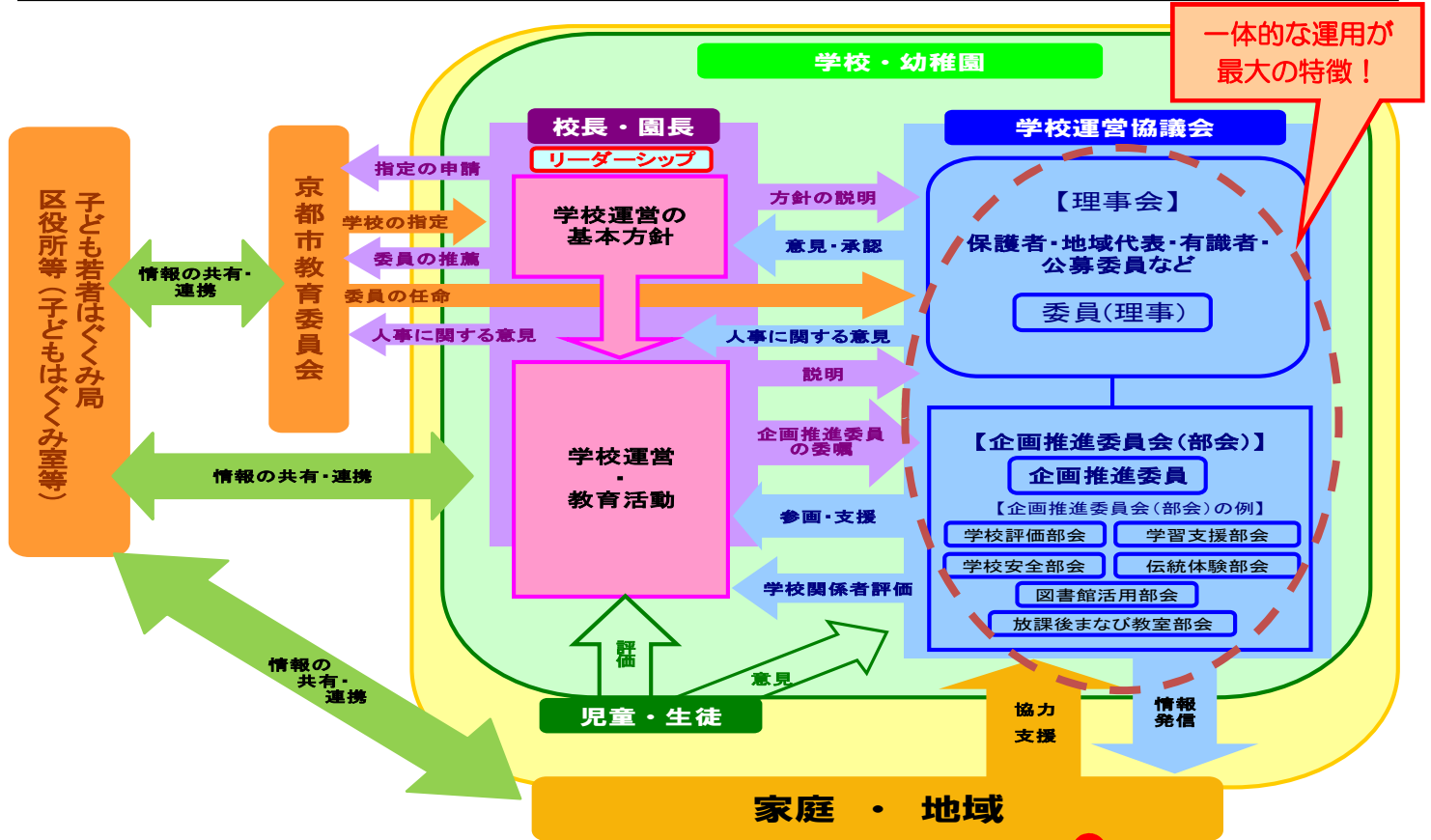


学校運営協議会とは、保護者や地域の方々に学校運営に参画いただき、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていくための組織です。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会が設置されている学校のことを指します。京都市では、平成16年から学校運営協議会を設置してきており、各校の学校運営協議会では、子どもたちや学校の課題・ニーズに応じた支援活動が活発に取り組みられています。今後とも、学校運営協議会を核としながら、学校・家庭・地域が、成果や課題に加え思いや行動も共有し、共に子どもたちを地域や社会の宝とし大切に育む地域ぐるみの教育及び地域コミュニティの活性化を一層推進してまいります。

## 「京都方式」の学校運営協議会 基本構想図



### ～子どもの成長を支える学校と地域の連携・協働の推進に向けて～

平成29年4月から学校運営協議会の担当部署が、指導部学校指導課から生涯学習部 **学校地域協働推進担当**（29年4月に新たに設置）へ移管されました。

これまで家庭地域教育に関わる事業の支援、青少年健全育成団体との連絡調整を行ってきた生涯学習部のノウハウを活かし、学校運営協議会の設置拡大、充実を推進することを目的としています。また、次期学習指導要領の理念となる「社会に開かれた教育課程」の推進とともに、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちをはぐくむ「京都はぐくみ憲章」の実践と普及を、平成29年4月創設の「子ども若者はぐくみ局」や役所・支所との連携を図りながら進めます。こうした取組を進めることで、家庭・地域と学校が双方向で高め合い、学校教育の充実だけでなく、地域コミュニティのさらなる活性化を図っていきます。

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当  
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549  
電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449



年度当初に、企画推進委員会の活動内容について話し合う様子

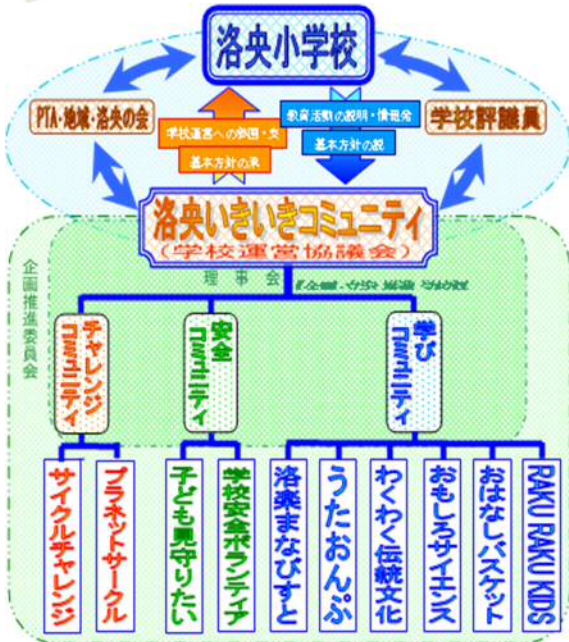


企画推進委員会「文化部」で地域の方から茶道を学ぶ様子

洛央小学校の学校運営協議会（洛央いきいきコミュニティ）

『平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰』受賞の洛央小学校運営協議会では、10の企画推進委員会を設置し約90名の保護者・地域の方々に参加・運営していただいています。今回は、その中から「RAKU RAKU KIDS」の取組について紹介します。

『学校・家庭・地域の協働による温かい学びの創造』洛央いきいきコミュニティ



【RAKU RAKU KIDS】

企画推進委員の方々にご協力いただき、2年生から簡単な英会話や歌・ゲームなどの英語活動を行っています。子どもたちからは「英語って楽しい」「英語を学びたい」といった声が聞かれ、学習意欲が向上している様子がうかがえます。



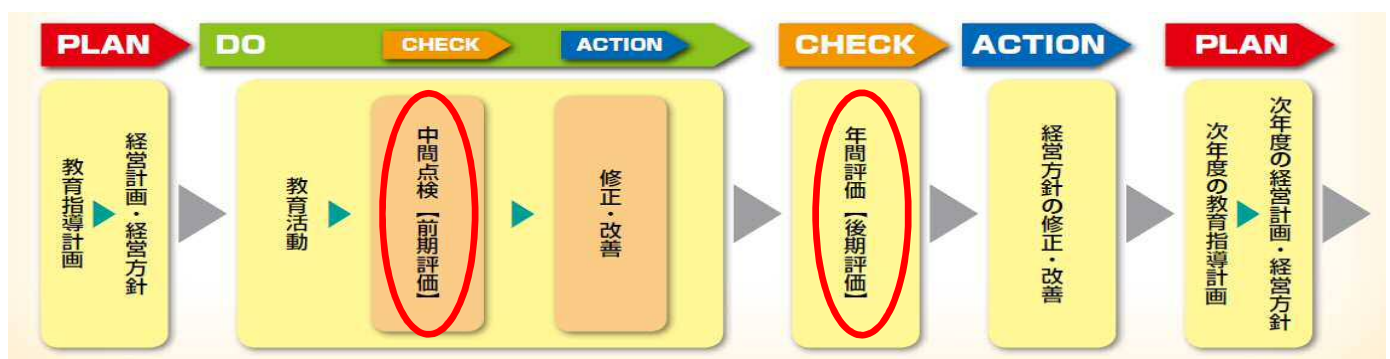
【2年生の活動の様子】

高学年での外国人観光客へのインタビューには、委員の方々に支援員としてご協力いただいています。

企画推進委員会の活動を通して、子どもたちや保護者、地域住民相互の交流が深まっています。また、大人が生き生きと楽しんで活動する姿は、子どもたちの憧れとなっており、学習意欲や向上心・探究心をはぐくみ高めるうえで好影響を与えています。

学校評価の充実 ～「参加から参画へ」～

子どもたちの学校生活をよりよいものにするためには、学校・家庭・地域が互いに高めあう双方向の信頼関係の構築が何よりも大切です。こうした考えのもと、学校運営協議会では保護者・地域と課題を共有するとともに、子どもたちのために何ができるかを、一体となって考える機会として、学校の自己評価に対する評価（学校関係者評価）を実施しています。



学校評価のポイント

- ① 学校から保護者・地域の方々への情報発信  
→学校評価は、アンケートを回収し、分析して終わりではありません。結果を受けてどのように改善していくか・継続していくかを、具体的に保護者・地域の方々に提示していくことが大切です。
- ② 保護者・地域の方々へ  
→子どもたちへの教育は学校だけで行うものではありません。学校評価のための保護者アンケートなどを通し、「自分はできているだろうか」と一度振り返って考えていただくと幸いです。  
(例：【家庭学習の習慣化の定着】という評価項目では、「家庭学習をするようご家庭で働きかけをしていますか」など)

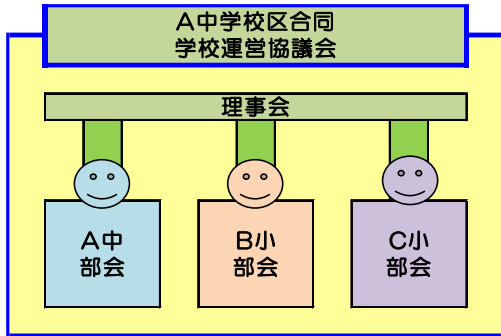


# 小中合同の学校運営協議会

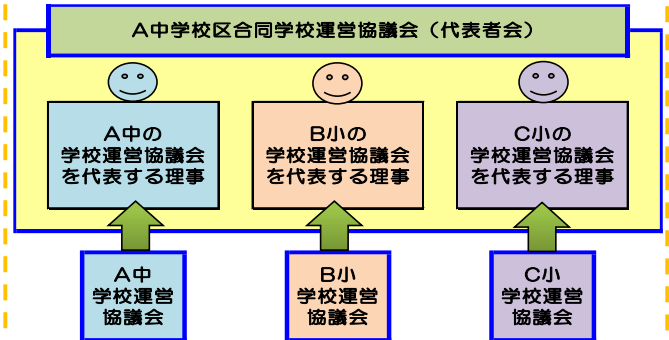
京都市では、学校・家庭・地域が一体となって小中一貫教育に取り組み、義務教育9年間の学びと育ちを組織的に支えていくため、「小中合同の学校運営協議会」の設置を推進しています。地域に応じた「小中合同」の形で、小中一貫教育の検討・分析・評価・支援をお願いします！

## 小中合同の学校運営協議会のイメージ（一例）

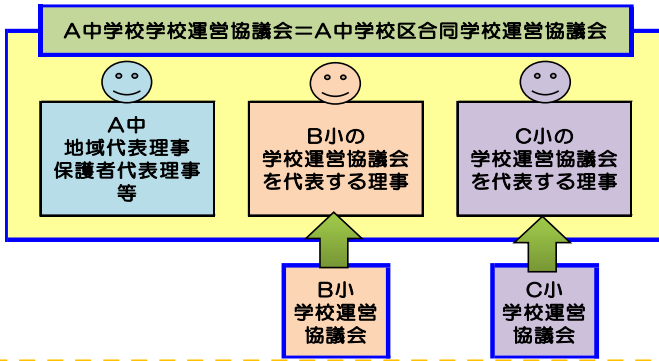
①小中学校の学校運営協議会の委員全員を同一メンバーで構成し、運営している



②各校の学校運営協議会の代表者が集う中学校区での代表者会議を実施し、運営している



③中学校の学校運営協議会を小学校の学校運営協議会を代表する理事を含むメンバーで構成し、運営している



### 設置済みの23中学校区（H29.3.31 現在）

- ① 凌風中, 久世中, 大原中, 花背中, 開晴中, 東山泉中, 西院中, 高雄中, 宕陰中, 周山中
- ② 松原中, 勸修中, 嵯峨中, 双ヶ丘中, 桃陵中
- ③ 西賀茂中, 七条中, 高野中, 音羽中, 檜原中, 洛西中, 桃山中, 伏見中

（数字はイメージに対応）

## 取組事例その② ～小中合同の学校運営協議会～

### 松原中学校区（朱雀第三小学校，光徳小学校，松原中学校）の小中合同学校運営協議会

松原中学校区では、3校の学校運営協議会の理事の方々が集まり、各校の現状や中学校区としての教育の方向性を共有しています。導入の経緯や今後の展望などを紹介します。

#### 地域とともにある松原中ブロック ～9年間の学校教育の充実に向けて～

これまでから、保幼小中館連絡協議会（館＝児童館）を実施するなど、地域の教育施設の連携には強いものがありました。小中一貫教育の充実と地域の教育力を高めるため、平成27年度に各小中学校の運営協議会の理事が集まり、三校合同学校運営協議会の取組を始めました。



【三校合同学校運営協議会】

光徳小は下京区で、朱雀第三小と松原中が中京区という状況乗り越え、各学校運営協議会の皆様のご理解のもと、活動を進めています。



【学校財務の説明資料】

28年度は、学校間連携を行っている事務職員から地域の方々に学校財務についての説明を行いました。また、小中一貫教育構想図などを提示して、松原中ブロックの教育の方向性を確認していただきました。

学校の「見える化」につなげていく場として、さらに充実させていきたいと考えています。

## 京都市の学校運営協議会の設置校数（平成29年3月31日現在）

校 種	設置校数
幼稚園（全16園）	12園
小学校（全166校）	166校
中学校（全73校）	53校
総合支援学校（全8校）	8校
合 計	239校・園

全校設置に向けて、中学校及び幼稚園の設置拡大を図っています。

全国で最多の設置数！  
京都市立の約9割の学校・幼稚園に設置済

## コミュニティ・スクールの推進・充実に向けた研修会 （H28.10.18 京都市総合教育センター）

実践発表 ①深草小学校：学校運営協議会と教育活動の連携方法

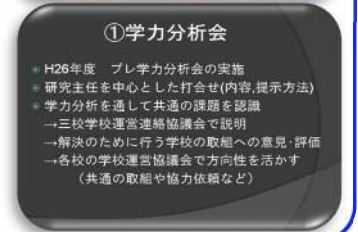
②勸修中学校区（勸修小・小野小・勸修中）：

小中合同の学校運営協議会と学力分析会

<学校運営協議会委員や教職員の方々約250名の参加者からの感想>

- ・他校の活動を知ることができ、非常に参考になった
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターが大切ということに共感した
- ・小中一貫教育と学校運営協議会が一層密接につながっていく必要があることがわかった

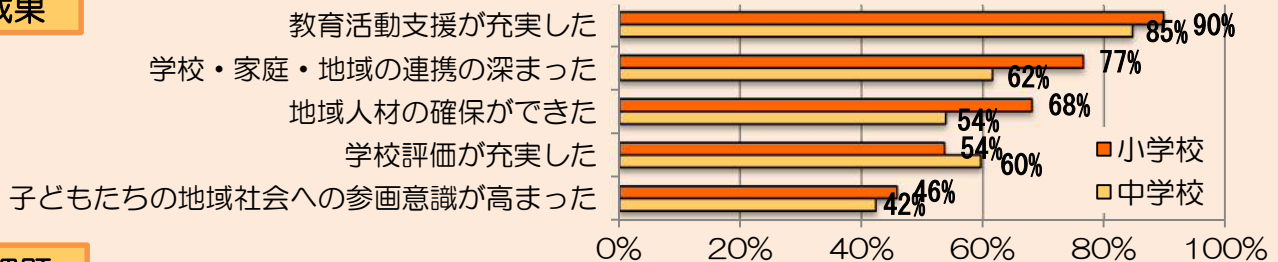
平成29年度は10月17日（火）夜間に開催予定です（詳細は追って学校を通じてお知らせいたします）。



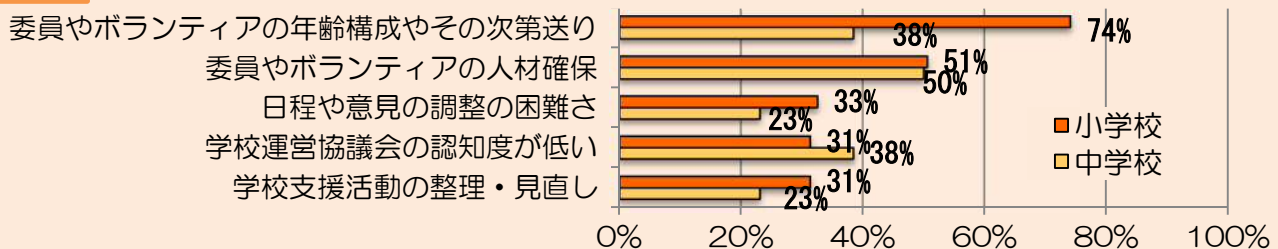
## コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の成果・課題

28年10月に学校運営協議会を設置する学校へのアンケート調査を実施したところ、多くの学校から、「教育活動の支援が充実した」、「学校・家庭・地域の連携が深まった」、「学校評価が充実した」と回答がありました。一方で課題では、「委員やボランティアの年齢構成やその次第送り」、「委員やボランティアの人材確保」との回答が多くありました。

### 成果



### 課題



京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当  
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549  
電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000038884.html>

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
子ども教育の京都市民憲章を实践しましょう！  
京都はくくみ憲章